

参考資料 2

事業評価にかかわる
バックデータ

①一般国道337号 道央圏連絡道路
長沼南幌道路

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拮・BP・その他の別
道央圏連絡道路 (一般国道337号)	長沼南幌道路	L=14.6Km	地域高規格道路	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
10,000~18,500	2	北海道開発局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成 22 年度		
単純合計	233億円	176億円	409億円
基準年における 現在価値 (C)	177億円	53億円	231億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成 22 年度			
供用年	平成 32 年度			
単年便益 (初年便益)	34億円	10億円	5.4億円	49億円
基準年における 現在価値 (B)	474億円	148億円	73億円	696億円

③ 結果

費用便益比(B/C)	3.0
経済的純現在価値(B-C)	465億円
経済的内部収益率(EIRR)	14.1%

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	10,000~18,500	±10%	2.6~3.1
事業費	233億円	±10%	2.8~3.3
事業期間	9年	±2年	2.9~3.2

交通状況の変化

事業名:長沼南幌道路

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] 14.6km	交通量※1	[台/日]	0	14,300	
	走行時間※2	[分]	0	19.5	
	走行時間費用※3	[億円/年]	0	56.42	
②主な周辺道路※ 4	現道(国道337号): 16.7km	交通量	[台/日]	9,000	4,600
		走行時間	[分]	27.4	25.4
		走行時間費用	[億円/年]	51.14	24.77
	国道274号: 16.5km	交通量	[台/日]	17,900	16,500
		走行時間	[分]	34.2	33.6
		走行時間費用	[億円/年]	120.68	110.99
	国道36号: 21.0km	交通量	[台/日]	37,500	36,700
		走行時間	[分]	42.6	42.3
		走行時間費用	[億円/年]	313.73	305.51
	国道234号: 35.8km	交通量	[台/日]	7,000	5,500
		走行時間	[分]	53.1	51.8
		走行時間費用	[億円/年]	75.51	57.37
	主)江別 恵庭線: 22.6km	交通量	[台/日]	13,100	11,800
		走行時間	[分]	37.5	37.0
		走行時間費用	[億円/年]	94.76	84.78
③その他道路合計 :25828.6km	走行時間費用	[億円/年]	23435.35	23418.86	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便 益
合計:25955.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	24091.17	24058.70	32.47

※1: 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

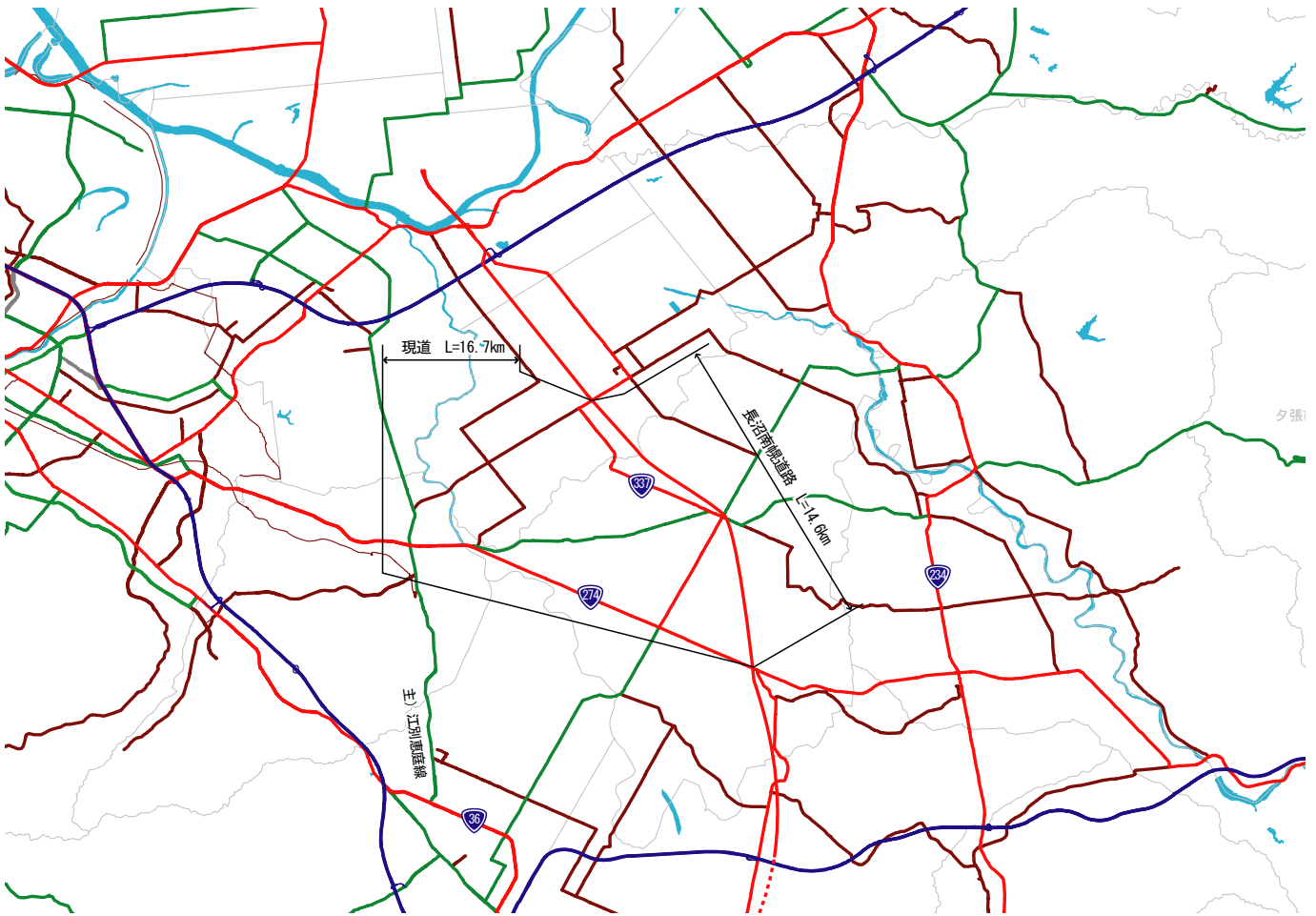
※2: 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3: 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4: 当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。

事業名：長沼南幌道路

【図面(①、②)に該当する道路を明示すること】



費用便益分析の条件

事業名：長沼南幌道路

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成22年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
その他()			
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
その他()		<input type="checkbox"/>	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通容量未満・以上の路線が混在した配分結果となっているため、便益算出においては速度差の生ずる加重平均速度を用いた		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
その他()		<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数	() %
	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載			
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	() 日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
	とり止め交通の考慮する		<input type="checkbox"/>	
	とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載			
	冬期交通の影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
		考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する場合のみ		採用した冬期日数	(121) 日	
		採用した冬期日数の考え方を記載		
		北海道における気温や初雪、積雪状況等の出現状況や冬期通行規制期間を踏まえ、4ヶ月と設定		
冬期の走行速度と交通容量の関係				
設定の考え方を記載				
Vmax、Vminについて低減				
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
その他				

(4)

項目		チェック欄	
費用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input checked="" type="checkbox"/>
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>
		その他(実績値を採用	<input type="checkbox"/>
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
		既存の路線の実績値を参考に設定	
雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input checked="" type="checkbox"/>	
その他			
4. その他			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:道央圏連絡道路(一般国道337号)長沼南幌道路

			単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
			0.25	14.6	3.70	
年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
			単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-9年目	H 23	0.9615	0.96	0.92	0.00	0.00
-8年目	H 24	0.9246	2.77	2.56	0.00	0.00
-7年目	H 25	0.8890	4.13	3.67	0.00	0.00
-6年目	H 26	0.8548	9.88	8.44	0.00	0.00
-5年目	H 27	0.8219	9.87	8.11	0.00	0.00
-4年目	H 28	0.7903	68.33	54.00	0.00	0.00
-3年目	H 29	0.7599	48.24	36.65	0.00	0.00
-2年目	H 30	0.7307	58.00	42.38	0.00	0.00
-1年目	H 31	0.7026	30.65	21.53	0.00	0.00
供用開始年次	H 32	0.6756	0.00	0.00	3.52	2.38
1年目	H 33	0.6496	0.00	0.00	3.52	2.29
2年目	H 34	0.6246	0.00	0.00	3.52	2.20
3年目	H 35	0.6006	0.00	0.00	3.52	2.12
4年目	H 36	0.5775	0.00	0.00	3.52	2.03
5年目	H 37	0.5553	0.00	0.00	3.52	1.96
6年目	H 38	0.5339	0.00	0.00	3.52	1.88
7年目	H 39	0.5134	0.00	0.00	3.52	1.81
8年目	H 40	0.4936	0.00	0.00	3.52	1.74
9年目	H 41	0.4746	0.00	0.00	3.52	1.67
10年目	H 42	0.4564	0.00	0.00	3.52	1.61
11年目	H 43	0.4388	0.00	0.00	3.52	1.55
12年目	H 44	0.4220	0.00	0.00	3.52	1.49
13年目	H 45	0.4057	0.00	0.00	3.52	1.43
14年目	H 46	0.3901	0.00	0.00	3.52	1.37
15年目	H 47	0.3751	0.00	0.00	3.52	1.32
16年目	H 48	0.3607	0.00	0.00	3.52	1.27
17年目	H 49	0.3468	0.00	0.00	3.52	1.22
18年目	H 50	0.3335	0.00	0.00	3.52	1.18
19年目	H 51	0.3207	0.00	0.00	3.52	1.13
20年目	H 52	0.3083	0.00	0.00	3.52	1.09
21年目	H 53	0.2965	0.00	0.00	3.52	1.04
22年目	H 54	0.2851	0.00	0.00	3.52	1.00
23年目	H 55	0.2741	0.00	0.00	3.52	0.97
24年目	H 56	0.2636	0.00	0.00	3.52	0.93
25年目	H 57	0.2534	0.00	0.00	3.52	0.89
26年目	H 58	0.2437	0.00	0.00	3.52	0.86
27年目	H 59	0.2343	0.00	0.00	3.52	0.83
28年目	H 60	0.2253	0.00	0.00	3.52	0.79
29年目	H 61	0.2166	0.00	0.00	3.52	0.76
30年目	H 62	0.2083	0.00	0.00	3.52	0.73
31年目	H 63	0.2003	0.00	0.00	3.52	0.71
32年目	H 64	0.1926	0.00	0.00	3.52	0.68
33年目	H 65	0.1852	0.00	0.00	3.52	0.65
34年目	H 66	0.1780	0.00	0.00	3.52	0.63
35年目	H 67	0.1712	0.00	0.00	3.52	0.60
36年目	H 68	0.1646	0.00	0.00	3.52	0.58
37年目	H 69	0.1583	0.00	0.00	3.52	0.56
38年目	H 70	0.1522	0.00	0.00	3.52	0.54
39年目	H 71	0.1463	0.00	0.00	3.52	0.52
40年目	H 72	0.1407	0.00	0.00	3.52	0.50
41年目	H 73	0.1353	0.00	0.00	3.52	0.48
42年目	H 74	0.1301	0.00	0.00	3.52	0.46
43年目	H 75	0.1251	0.00	0.00	3.52	0.44
44年目	H 76	0.1203	0.00	0.00	3.52	0.42
45年目	H 77	0.1157	0.00	0.00	3.52	0.41
46年目	H 78	0.1112	0.00	0.00	3.52	0.39
47年目	H 79	0.1069	0.00	0.00	3.52	0.38
48年目	H 80	0.1028	0.00	0.00	3.52	0.36
49年目	H 81	0.0989	-8.13	-0.80	3.52	0.35
合計			224.68	177.47	176.17	53.18
単純事業費計			232.81		176.17	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

【案①:別線整備案】

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道337号 道央圏連絡道路	長沼南幌道路	2/4	約14.6km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				17,245	
	改良費				9,930	
		土工	m ³	1,612,500	5,408	切土(250,200m ³)、盛土(1,362,300m ³)、採取盛土(1,137,100m ³)
		軟弱地盤改良工	m	261	961	
		法面工	m ²	267,415	207	
		擁壁工	m ²	1,550	84	
		管渠工	m	121,625	77	
		函渠工	m	1,198	972	
		排水工	式	1	539	
		中央分離帯工	式	1	34	
		雑工	式	1	1,648	機能補償道路・水路等
	橋梁費				2,199	
		100m以上	m	143	664	
		100m未満	m	227	1,535	
	トンネル費				0	
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費				849	
		IC	箇所	3	849	ダイヤモンド型(3)
		JCT	箇所			
	舗装費				2,682	
		車道舗装	m ²	922,076	2,682	
		歩道舗装	m ²			
	付帯施設費				1,585	
		交通管理施設工	式	1	1,585	標識工、防護柵工、道路照明、縁石工等
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				1,137	
	用地費		m ²	717,040	813	
		宅地	m ²	10,320	155	
		田畑	m ²	507,750	508	
		山林・原野	m ²	48,780	49	
		その他	m ²	150,190	102	
	補償費		式	1	324	
③	間接経費		式	1	5,865	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				24,247	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

②一般国道230号 定山溪拡幅

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拓・BP・その他の別
一般国道230号	定山溪拡幅	L=2.8Km	二次改築	現拓

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
12,400~15,500	4	北海道開発局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成 22 年度		
単純合計	119億円	35億円	154億円
基準年における 現在価値 (C)	100億円	12億円	112億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成 22 年度			
供用年	平成 30 年度			
単年便益 (初年便益)	12億円	1.8億円	0.42億円	14億円
基準年における 現在価値 (B)	178億円	28億円	6.1億円	213億円

③ 結果

費用便益比(B/C)	1.9
経済的純現在価値(B-C)	101億円
経済的内部収益率(EIRR)	8.4%

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	12,400~15,500	±10%	1.4~2.3
事業費	119億円	±10%	1.7~2.1
事業期間	7年	±1年	1.8~2.0

交通状況の変化

事業名: 定山溪拡幅

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路 [バイパス等] 2.8km	交通量※1	[台/日]	12,700	14,400
	走行時間※2	[分]	6.7	3.3
	走行時間費用※3	[億円/年]	18.08	10.07
③その他道路合計 : 25938.4km	走行時間費用	[億円/年]	26996.25	26992.99

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計: 25941.2km	走行時間短縮便益	[億円/年]	27014.33	27003.06	11.27

※1: 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2: 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3: 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4: 当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。

事業名: 定山溪拡幅

【 図面(①、②)に該当する道路を明示すること】



費用便益分析の条件

事業名: 定山溪拡幅

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成22年	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
		複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
		その他()	<input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
		有	<input type="checkbox"/>
有の場合のみ		考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	その他()		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通容量未満・以上の路線が混在した配分結果となっているため、便益算出においては速度差の生ずる加重平均速度を用いた		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
その他()	<input type="checkbox"/>		

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
		考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input checked="" type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数	(136) %
	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載 当該区間は休日に交通が特化することから、休日交通を考慮した。休日係数は、H17センサスにおける現道の平日休日交通量比を採用した。			
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	() 日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
とり止め交通の考慮する		<input type="checkbox"/>		
とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載				
冬期交通の影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>		
	考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数	(121) 日	
		採用した冬期日数の考え方を記載 北海道における気温や初雪、積雪状況等の出現状況や冬期通行規制期間を踏まえ、4ヶ月と設定		
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
Vmax、Vminについて低減				
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
その他				

(4)

項目		チェック欄	
費用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input checked="" type="checkbox"/>
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>
		その他(実績値を採用)	<input type="checkbox"/>
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
		既存の路線の実績値を参考に設定	
雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input checked="" type="checkbox"/>	
その他			
4. その他			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			

費用の現在価値算定表

維持管理費の単価単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道230号 定山溪拡幅

				単価(億円)	延長(km)	単価単価(億円)	
				0.26	2.8	0.74	
年次	年度	割戻率	事業費(億円)		維持管理費(億円)		
			単価単価	現在価値	単価単価	現在価値	
-7年目	H 23	0.9615	0.96	0.92	0.00	0.00	
-6年目	H 24	0.9246	6.52	6.03	0.00	0.00	
-5年目	H 25	0.8890	26.14	23.23	0.00	0.00	
-4年目	H 26	0.8548	32.97	28.18	0.00	0.00	
-3年目	H 27	0.8219	42.14	34.63	0.00	0.00	
-2年目	H 28	0.7903	6.38	5.05	0.00	0.00	
-1年目	H 29	0.7599	3.72	2.83	0.00	0.00	
供用開始年次	H 30	0.7307	0.00	0.00	0.70	0.51	
1年目	H 31	0.7026	0.00	0.00	0.70	0.50	
2年目	H 32	0.6756	0.00	0.00	0.70	0.48	
3年目	H 33	0.6496	0.00	0.00	0.70	0.46	
4年目	H 34	0.6246	0.00	0.00	0.70	0.44	
5年目	H 35	0.6006	0.00	0.00	0.70	0.42	
6年目	H 36	0.5775	0.00	0.00	0.70	0.41	
7年目	H 37	0.5553	0.00	0.00	0.70	0.39	
8年目	H 38	0.5339	0.00	0.00	0.70	0.38	
9年目	H 39	0.5134	0.00	0.00	0.70	0.36	
10年目	H 40	0.4936	0.00	0.00	0.70	0.35	
11年目	H 41	0.4746	0.00	0.00	0.70	0.33	
12年目	H 42	0.4564	0.00	0.00	0.70	0.32	
13年目	H 43	0.4388	0.00	0.00	0.70	0.31	
14年目	H 44	0.4220	0.00	0.00	0.70	0.30	
15年目	H 45	0.4057	0.00	0.00	0.70	0.29	
16年目	H 46	0.3901	0.00	0.00	0.70	0.27	
17年目	H 47	0.3751	0.00	0.00	0.70	0.26	
18年目	H 48	0.3607	0.00	0.00	0.70	0.25	
19年目	H 49	0.3468	0.00	0.00	0.70	0.24	
20年目	H 50	0.3335	0.00	0.00	0.70	0.24	
21年目	H 51	0.3207	0.00	0.00	0.70	0.23	
22年目	H 52	0.3083	0.00	0.00	0.70	0.22	
23年目	H 53	0.2965	0.00	0.00	0.70	0.21	
24年目	H 54	0.2851	0.00	0.00	0.70	0.20	
25年目	H 55	0.2741	0.00	0.00	0.70	0.19	
26年目	H 56	0.2636	0.00	0.00	0.70	0.19	
27年目	H 57	0.2534	0.00	0.00	0.70	0.18	
28年目	H 58	0.2437	0.00	0.00	0.70	0.17	
29年目	H 59	0.2343	0.00	0.00	0.70	0.17	
30年目	H 60	0.2253	0.00	0.00	0.70	0.16	
31年目	H 61	0.2166	0.00	0.00	0.70	0.15	
32年目	H 62	0.2083	0.00	0.00	0.70	0.15	
33年目	H 63	0.2003	0.00	0.00	0.70	0.14	
34年目	H 64	0.1926	0.00	0.00	0.70	0.14	
35年目	H 65	0.1852	0.00	0.00	0.70	0.13	
36年目	H 66	0.1780	0.00	0.00	0.70	0.13	
37年目	H 67	0.1712	0.00	0.00	0.70	0.12	
38年目	H 68	0.1646	0.00	0.00	0.70	0.12	
39年目	H 69	0.1583	0.00	0.00	0.70	0.11	
40年目	H 70	0.1522	0.00	0.00	0.70	0.11	
41年目	H 71	0.1463	0.00	0.00	0.70	0.10	
42年目	H 72	0.1407	0.00	0.00	0.70	0.10	
43年目	H 73	0.1353	0.00	0.00	0.70	0.10	
44年目	H 74	0.1301	0.00	0.00	0.70	0.09	
45年目	H 75	0.1251	0.00	0.00	0.70	0.09	
46年目	H 76	0.1203	0.00	0.00	0.70	0.08	
47年目	H 77	0.1157	0.00	0.00	0.70	0.08	
48年目	H 78	0.1112	0.00	0.00	0.70	0.08	
49年目	H 79	0.1069	-6.94	-0.74	0.70	0.08	
合計			111.89	100.13	35.24	11.51	
単純事業費計			118.83		35.24		

- 注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)
- 注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道230号	定山溪拡幅	4	約2.8km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				3,429	
	改良費				827	
		土工	m ³	110,000	230	切土(42,400m ³)、盛土(34,800m ³)、採取盛土(32,600m ³)
		軟弱地盤改良工	m	0	0	
		法面工	m ²	45,050	37	
		擁壁工	m ²	1,785	97	
		管渠工	m	234	17	
		函渠工	m	43	7	
		排水工	式	12,177	154	
		中央分離帯工	m	2,400	45	
		雑工	式	1	240	機能補償道路等
	橋梁費				256	
		100m以上	m	0	0	
		100m未満	m	12	256	
	トンネル費				1,761	
		NATM	m	239	1,761	
		シールド	m			
	IC・JCT費				0	
		IC	箇所	0	0	
		JCT	箇所			
	舗装費				470	
		車道舗装	m ²	193,532	443	
		歩道舗装	m ²	14,440	27	
	付帯施設費				115	
		交通管理施設工	式	1	115	標識工、防護柵工、道路照明、縁石工等
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				5,986	
	用地費		m ²	126,580	694	
		宅地	m ²	7,300	285	
		田畑	m ²	630	1	
		山林・原野	m ²	37,620	55	
		その他	m ²	81,030	353	
	補償費		式	1	5,292	
③	間接経費		式	1	2,947	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				12,362	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用